

製品安全データシート

PTBCHA

作成 : 2024/3/21
改訂 :

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称
会社名
住所
担当部署
担当者(作成者)
電話番号
FAX番号
メールアドレス
緊急連絡先番号

PARA TERTIARY BUTYL CYCLOHEXYL ACETATE
Eternis Fine Chemicals Ltd.
1004, Peninsula Towers, 10 th Floor, Peninsula Corporate Park, G.K.
Marg, Lower Parel, Mumbai-400013, India

[Salomi Samuel](mailto:Salomi.Samuel)
+91-22-66513400

sales@eternis.com
regulatory@eternis.com

販売代理店
住所
電話番号
FAX
メールアドレス
HP

サンケミカル株式会社
東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
03-3661-6681
03-3661-7055
yano@sun-chemical.co.jp
<http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意
香料原料

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類 オリジナルSDSの引用

物理化学的危険性:

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分外 (区分5)	H303
皮膚感受性	区分1B	H317

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)	区分2	H401
----------------	-----	------

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。



● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル

● 注意喚起語 警告

● 危険有害性情報

H303	飲み込むと有害のおそれがある
H317	皮膚にアレルギー反応を引き起こすおそれがある
H401	水生環境に有害

● 注意書き

【安全対策】

P261 蒸気ダストの吸入を防ぐこと。
P280 手/眼/顔の保護具を着用すること。
P302/352 皮膚に触れた場合、十分な水と石けんで洗い流すこと
P333/313 皮膚に刺激、赤みが出た場合、医師の診断を受けること。
P501 法令条例に従い、内容物、容器を処分すること。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

工業純品

化学名又は一般名

4-tert-ブチルシクロヘキシル=アセタート

慣用名・別名

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS番号

32210-23-4

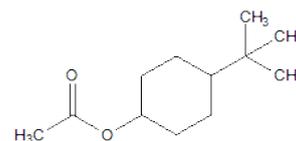
成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

100%

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

3-2356 酢酸アルキル(C1~4)シクロヘキシル

3-2311 脂肪酸(C2~4)アルキル(C1~5)シクロヘキシル



GHS分類に寄与する成分

▲ 項目4 応急処置

吸入した場合	吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

項目5 火災時の措置

消火剤 炭酸ガス、乾燥消火剤、消泡消火剤、

使ってはならない消火剤

火災時の措置に関する特有の危険有害性 燃焼時、一酸化炭素と有機化合物を形成する。

特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
爆発の可能性があるので、壁に隠れて消防を行うこと。
熱を持っている場合、荷物を移動させないこと。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋
安全グラス
保護具
熱や火災にさらされている場合、呼吸機器を身に着けること。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

皮膚、眼の接触を避けること。
項目7と8を参照

環境に対する注意事項

環境に放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

裸火、着火源を近づけないこと。
過度な蒸気の吸入を避けること。
漏出物を砂や不活性物質で吸収して廃棄容器に詰めること。
法令に従い廃棄処分をする。

二次災害の防止策

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

裸火、熱に近づけないこと。
引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。
粒子状の際、耐火、耐爆発の設備を使用し、換気のよい場所でのみ取り扱う。
取り扱い場所では飲食喫煙はしない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

厳しく監視すること。容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。
廃棄物を下水に流さないこと。

保管

安全な保管条件

涼しく、乾燥した換気のよい場所で密閉保管
受入場所ではアース接地をする。

近づけてはいけないもの

火、熱

安全な保管保管包装材料

元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005年版) 未設定
ACGIH(2005年) 未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

アース線の設置を行うこと。裸火、熱に近づけない事。水を含んだ物質を近づけないこと。
引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。
粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用すること。
呼吸器官を保護、もしくは局所、全体換気の管理で作業を行うこと。
厳格な衛生管理の下で作業し、容器は密閉し、作業中の飲食と喫煙は避けること。

保護具

呼吸用保護具

ガス蒸気の濃度が高い際、ガスマスクを着用する事。

手の保護具

手の保護具

眼の保護具

面の保護具

皮膚及び身体の保護具

防護服

特別な注意事項

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
色	無色透明
臭い	フローラル
融点・凝固点	-20°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	243°C
可燃性	可燃物
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データ無し
引火点	104°C
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
pH	6.20~7.20
動粘性率	8.37 mm ² /s @20°C
溶解度	水 39.6 mg/L @20°C
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	4.8 Log POW @25°C
蒸気圧	7.9 Pa @ 25° C
密度及び/又は相対密度	0.936 @20°C
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	
その他のデータ	
表面張力	62.9 nM/m @20°C

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	商品そのものや、水への接触で、重度の危険反応はない。
化学的安定性	通常の保管では安定
危険有害反応可能性	通常の保管では安定
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	強酸、アルカリ、酸化剤、 火、熱
混触危険物質	強酸、アルカリ、酸化剤、火、熱
危険有害な分解生成物 その他	燃えた場合、一酸化炭素と有機化合物を発生させる。

★ 項目11 有害情報

急性毒性

曝露経路	基準	方法	値	曝露時間	被検体	結果
経口	LD50		3370 mg/kg		ラット	
経皮	LD50		>5000 mg/kg		ラット	
吸入	LD50				ラビット	基準を満たさない

皮膚腐食性/皮膚刺激性

曝露経路	結果	方法	曝露時間	時点	被検体	結果
					ヒト	刺激無し

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
利用可能なデータでは基準を満たさない
ラビット 刺激無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性
局所リンパアッセイ(LLNA)では、感作性がない
皮膚感作区分1B

生殖細胞変異原性
利用可能なデータでは基準を満たさない

発がん性
データ無し

生殖毒性
利用可能なデータでは基準を満たさない

特定標的臓器毒性、単回曝露
利用可能なデータでは基準を満たさない

特定標的臓器毒性、反復曝露
利用可能なデータでは基準を満たさない

誤嚥有害性
その他

項目12 環境毒性情報

生態毒性

	基準	方法	値	期間	被検体	試験設計	淡水/塩水	値の決定
急性毒性 魚	LC50	止水式	11 mg/L	72h				
急性毒性 無脊椎動物	EC50	止水式	5.3 mg/L	48h				
急性毒性 藻又は他の 水生植物				72h				
魚に対する 慢性毒性								
長期毒性 無脊椎動物	NOEC		16mg/L		甲殻類			
長期毒性 藻又は他の 水生微生物	NOEC		32mg/L		藻			
に対する毒	EC50							
	IC50							
	IC50							

残留性・分解性
容易に分解する。

生態蓄積性
n-オクタノール/水分配係数 (log Kow): 計測 4.8
生体濃縮係数(BFC): 全体重量 334.6 L/kg

土壤中の移動性
吸着係数
KOC 計測 3243~4603
Log Koc >3.51 ~ <3.66

オゾン層への有害性
データなし

他の有害影響
ドイツ 水危険クラス WGK 2

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

法令条例に従い、廃棄処分を行う。
環境に排出しないこと。
空の容器は、適切に処分するかリサイクルを行う。

項目14 輸送上の注意

国際規制
国連番号 非該当
品名(国連輸送名) 非該当

国連分類 非該当
(輸送における危険有害性クラス)

容器等級 非該当
海洋汚染物質 非該当
(該当・非該当)

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び
IBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
(該当・非該当)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 消防法の規定に従う。

国内規制がある場合の規制情報

その他
応急措置指針番号 非該当

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	管理番号714 政令番号1-406
安衛法	皮膚等障害化学物質及び保護具等使用義務物質 1%以上
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
消防法	第4類第3石油類 非水溶性液体 2,000L
外為法	輸出管理貿易令 別表1 第16項 キャッチオール

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならぬ事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。